

SimC News Letter

Sendai International Music Competition

2021年4月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール

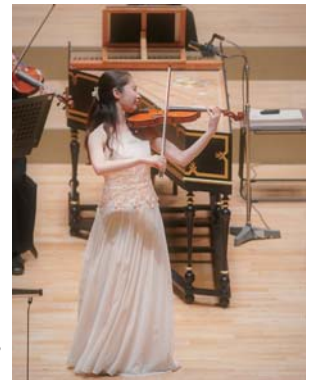
【開催日程】ヴァイオリン部門: 2022.5.21(土)~6.5(日) ピアノ部門: 2022.6.11(土)~6.26(日) 申込受付期間: 2021.6.10(木)~11.10(水)

第8回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門課題曲 解説 片桐 卓也(音楽ライター)

2022年に第8回の開催を迎える仙台国際音楽コンクールは、市民の皆様もすでにご存知のように「協奏曲」を課題曲の中心に据えたコンクールである。通常のコンクールでは協奏曲が課題曲となるのはファイナル・ラウンドのみで、最初の予選の課題に協奏曲が入っているのは世界的に見ても珍しい。第8回のコンクールでも、プロフェッショナルなヴァイオリニストになるために必須の作品が課題曲として取り上げられており、出場者にとってはかなり手強い感じがするだろう。

予選の課題曲は、まずバロック音楽の巨匠ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685~1750)の「イ短調 BWV1041」と「ホ長調 BWV1042」の2曲の協奏曲、そして近代ヴァイオリンの祖とも言えるベルギーの名手ウジェーヌ・イザイ(1858~1931)の「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ」から「第3番」と「第6番」が並び、それぞれの作曲家から1曲を選択する。

バッハの演奏で問われるのは、その出場者のリーダーシップと音楽の読みの深さだろう。指揮者なしでの演奏となるので、出場者は自分で音楽を作り、それを共演者であるオーケストラに伝えなければならない。その上で、表面的ではなく、深くバッハの音楽の意図を読み取り、自分の表現として伝えることが求められる。イザイの作品では、ヴァイオリンの基本的なテクニックが正直に示されてしまう。もう一度、自分のテクニックを見直し、さらにイザイの音楽の魅力を伝える努力が必要となるだろう。



幸運にも予選を通過したら、今度はセミファイナルが待ち受ける。ここでの課題曲は、ドイツ・ロマン派を代表するF・メンデルスゾーン(1809~1847)と、民族楽派を代表する存在であるボヘミア出身のA・ドヴォルザーク(1841~1904)のヴァイオリン協奏曲、そしてオーケストラのコンサートマスターとして、後期ロマン派を代表する作曲家であるR・シュトラウス(1864~1949)の交響詩「英雄の生涯」の一部を演奏することになる。メンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調」はコンサートでもよく取り上げられる協奏曲の名曲のひとつであり、多くのコンクール出場者が一度は演奏したことがある作品だろう。よく知られている作品だけに、当然のことながら審査委員の要求も高くなり、そこにプレッシャーを感じる出場者もいるかもしれない。ドヴォルザークの「ヴァイオリン協奏曲」は1879年、つまり作曲家が38歳の時



の作品である。コンサートで取り上げられることは少ないが、第1楽章は非常に大きなスケールを持ち、第2楽章は旋律美に溢れ、第3楽章は民族音楽をベースにしたリズムカルな楽章であり、個性に溢れた協奏曲だ。もうひとつの課題はコンサートマスターとしてR・シュトラウスの「英雄の生涯」を演奏すること。この「英雄の生涯」は大規模な交響詩だが、コンサートマスターがソロで演奏する部分が多く、よく「コンマス名曲」と呼ばれている。オーケストラのリーダーとしての視点とソロイストとしての視点、両方が試される作品で、出場者の潜在的な能力を知るためには絶好の課題だと言えるだろう。



ファイナルは2群の課題曲から構成されている。まず、W・A・モーツァルト(1756~1791)の有名な5曲の「ヴァイオリン協奏曲」から1曲を選び、さらに、古今東西のヴァイオリン協奏曲の名曲群のなかからもう1曲を選ぶ。つまりファイナルでは2曲の協奏曲を演奏することになる。

モーツァルトがヴァイオリン協奏曲を最初に書いたのは1773年4月のこと。それが「第1番 K207」である。長いイタリア楽旅からザルツブルグに帰って来たばかりの頃で、創作動機は不明とされる。その後、1775年にまとめて残りの4曲が書かれている。つまりモーツァルトの5曲の「ヴァイオリン協奏曲」はすべて彼の10代の作品ということになる。実はアマデウスの父親レオポルトは「ヴァイオリン教程」という名著を残すほど、ヴァイオリン演奏を熟知していた演奏家でもあった。その手ほどきを受けたアマデウス・モーツァルトはピアノだけでなくヴァイオリンの演奏にも秀でたものを持ってたとされており、その5曲の「ヴァイオリン協奏曲」を聴けば、それがすぐに理解できるはずだ。どの協奏曲も第1楽章は澁刺とした生気に溢れていて、第2楽章は少し憂いを含み、第3楽章は快活で、独特な音楽的個性を持つ。よく言われるのは、その演奏家の音楽性、テクニック、そして人柄まで、すべてがモーツァルトの協奏曲ではあらわにされるということ。10代の作品だから易しいということは絶対にない。どの曲を選ぶか、出場者も大いに迷うだろう。一般的には「トルコ風」とサブタイトルで呼ばれることもある「第5番 K219」の演奏頻度が高く、それに続くのは「第3番 K216」、(→裏面へ続く)



「第4番 K218」だろうが、あえて演奏頻度の高くない「第1番&第2番」を弾くという選択肢もありそうだ。

第2群はベートーヴェンからショスタコーヴィチまで15曲の名作が並び、その中から1曲を選ぶ。これまでの仙台国際音楽コンクールの傾向から考えると、やはりブラームス、チャイコフスキー、シベリウスという3人の作曲家の協奏曲が選択される可能性が高いかなと思われる。いずれもヴァイオリン協奏曲の名曲として知られ、演奏頻度も高いが、演奏効果も高い。ヴァイオリニストと指揮者&オーケストラの相性にもよるけれど、それぞれの個性が見事に発揮された時に、音楽的な充実度を聴き手に与えられるのはその3曲だろう。

挑戦的な出場者がいたならば、バルトークの「ヴァイオリン協奏曲 第2番」、ショスタコーヴィチの「ヴァイオリン協奏曲 第1番」を選ぶかもしれない。特に後者は長いヴァイオリンのカデンツァが有名で、そこを弾き切れば大きな感銘を与えてくれる作品である。筆者個人の好みとしては現代的なベルクの「ヴァイオリン協奏曲」をファイナルで聴いてみたい。

いずれにしても、これだけの協奏曲のレパートリーを準備するのは本当に大変なことだ。出場者それぞれの孤独な闘いを、聴き手として応援してあげて欲しいと思う。



第8回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門概要

- ・開催期間：ヴァイオリン部門 2022年5月21日(土)～6月5日(日)
- ・会場：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
- ・出場資格：1992年1月1日以降に出生した者(国籍不問)
- ・運営委員長：野島 稔 ・審査委員長：堀米 ゆず子(ヴァイオリン部門) ・課題曲：協奏曲を中心に構成 ・申込受付期間：2021年6月10日(木)～11月10日(水)
- ・審査構成：コンクールは予選、セミファイナルおよびファイナルの各審査段階で構成する。コンクールの出場者を決定するために、動画データ等の提出物による予備審査を行う。
- ・オーケストラ：【ヴァイオリン部門予選】 仙台フィルハーモニー管弦楽団と山形交響楽団によるオーケストラ(指揮者なし)
【ヴァイオリン部門セミファイナル、ファイナル】 仙台フィルハーモニー管弦楽団(指揮：広上 淳一)

◆課題曲

予選 2022年5月21日(土)～5月23日(月)
[独奏] [オーケストラと共演(指揮者なし)]

次の①②の両方を演奏する。

①次の曲目から1曲を選択すること。

J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 BWV1041

J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調 BWV1042

②次の曲目から1曲を選択すること。

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 二短調 op.27-3

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第6番 ホ長調 op.27-6

セミファイナル 2022年5月27日(金)～5月29日(日)
[オーケストラと共演]

次の①②の両方を演奏する。

①次の曲目から1曲を選択すること。

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.53

③次の曲目をオーケストラのコンサートマスターとして演奏する。

R.シュトラウス：交響詩「英雄の生涯」op.40の指定箇所

・指定箇所については、予備審査通過者に連絡する。

ファイナル 2022年6月2日(木)～6月4日(土)
[オーケストラと共演]

次の①②の両方を演奏する。

①次の曲目から1曲を選択すること。

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 変ロ長調 K207

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 二長調 K211

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 ト長調 K216

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 二長調 K218

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 イ長調 K219

②次の曲目から1曲を選択すること。

ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61

パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.6

シューマン：ヴァイオリン協奏曲 二短調

ラロ：スペイン交響曲 二短調 op.21(全5楽章)

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77

サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 op.61

ブルッフ：スコットランド幻想曲 op.46

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112

ストラヴィンスキー：ヴァイオリン協奏曲 二調

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 op.19

ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 op.63

ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.77

第7回仙台国際音楽コンクール公式CD発売中!

定価：2,640円(税込) 全国のCDショップで取扱中!!



チェ・ヒョンロク
CHOI Hyounglok
ピアノ部門優勝者

[FOCD9825]

モーツァルト：ピアノ協奏曲 ト長調 K453

*ファイナル演奏曲

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調

op.23

*ガラコンサート演奏曲

指揮：広上 淳一

管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団



シャノン・リー
Shannon LEE
ヴァイオリン部門最高位(第2位)

[FOCD9824]

バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz112

*セミファイナル演奏曲

モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 二長調 K218

*ファイナル演奏曲

指揮：高関 健

管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団

■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873

E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp

